

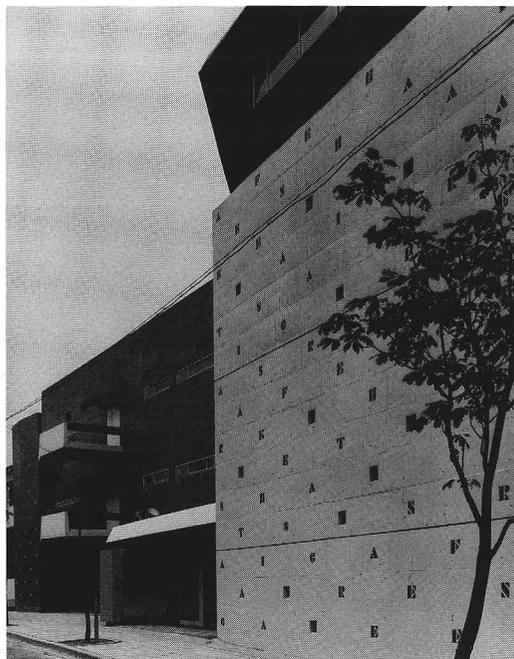
011 アテネ・フランセ

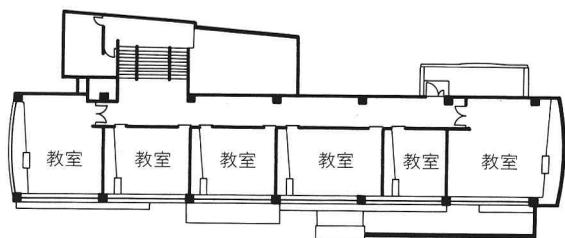
東京都 建築設計—吉阪研究室

鉄筋コンクリート造，地上3階・地下1階建，1962年

敷地の端は10mの段差がある。そこには大谷石の擁壁がある。初めの計画では、段差より遠い、廊下部分を直接基礎とし、教室を片持ちとしたが、これではたいへん不経済である。

結局、擁壁の高さに相当する現場掘りのピアとして、建物重量を擁壁にかけないことにした。





左頁左：東側からみる
左頁右：北側階段室
上：2階平面(S=1/100)
右：南側からみる
撮影：村井修

